

笑りなふ二人

「何でき、普通にちゃんと働いてき
飲みに行ったり、欲しいもの買ったり
そういう毎日で満足できる人間になれなかつたんだらう？」

佐藤 秋「親密さ」 山口 遥「きみはいい子」

鈴木 佳世 三好 勝恵 渡邊 徹 藤本 ココ
太田 友樹 西川 里佳 高橋 毅 山下一世

監督・脚本：佐藤 秋 山口 遥

主題歌：やけのはら「CITY LIGHTS」(felicity) 製作：UNUS 制作：UNUS

協賛：大正湯温泉 株式会社水明閣 中華食堂龍鳳 市場食堂味処たけだ 医療法人社団三ツ山病院
ロケーション協力：小樽市 小樽フィルムコミッション 美国 余市町 札幌市 札幌方面北警察署

協力：リサイクルショップよいち ニッカウキスキー株式会社 株式会社ミツウマ 株式会社北海道新聞社 株式会社まぐまぐ

劇場鑑賞券 ¥1,200

チケットぴあにて

申し込み受付中!

PCコード 559-547

<http://w.pia.jp/t/tarinaifutari/>



未来は希望

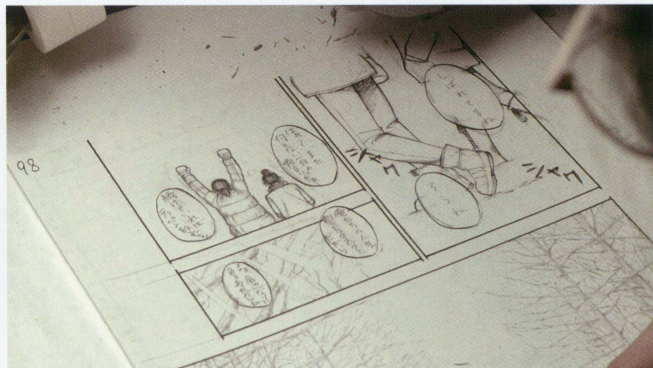


将来に不安



あらすじ

北海道・積丹町美国町。「漫画に専念する」と決意し、東京から電車のないこの町に移住してきて早5年。共同で漫画作家をしている小山内(おさない 29歳)と楓子(ふうこ 29歳)の同棲生活は完全に行き詰まっていた。日々の不満を募らせながら、成功できない理由をお互いのせいにする二人。それぞれ作家デビューから約10年。不甲斐ない日々を打開するため、小山内は、勝負の一本に取り掛かることを決意する。それは、自分たちをテーマにした物語を描くというもの。「二人で描けば、絶対に面白いものになる」と、希望を抱く小山内。対して、30歳の誕生日を目前に控える楓子は、「二人で居るから、うまくいかない」と不安を膨らませていく。見ている先は同じはずなのに、噛み合わない。いつまでたっても足並みの揃わない二人が選ぶ道とは――。



解説

佐藤秋と山口遥が「俳優としての居場所づくり」の為に制作した本作。電車が通っていない北海道積丹郡美国町の極寒の景色の中で描かれるのは、行き詰まりの生活をしながら共同執筆している“漫画家男女の物語”である。二人で執筆することに希望を見出す男・小山内宏太を演じるのは『親密さ』(11)で主演を務めた佐藤秋。二人でいることに不安を抱える女・中西楓子を演じるのは『きみはいい子』(15)出演の山口遥。さらに、実際に北海道で暮らす現地の出演者によって彩られている。監督・脚本は佐藤と山口が自ら務め、衣装やスケジュール管理、美術やロケ地交渉など、撮影と録音以外の制作業務もこなしている。北海道の陸の孤島を舞台に、30代俳優二人の自身らの人生を反映させた渾身の野心作が完成した。



2019/2/21(木)新宿ピカデリーにて公開

公式WEBサイト
宣伝活動発信中!!

